



市の人口

(12月1日現在)

男 24,763人
女 25,340人
計 50,103人
14,685世帯



石岡の民家 ③ 一色俊一郎宅 (国府6)



一日消防士として、フジコシ店内の消防設備の説明を消防署員から受ける中学生たち。予想以上の安全対策に全員がビックリ。

消えた
かな！

火災シーズンに備えよう 気になるあの火もう二度

火災シーズンがやってきました！
今年の火災は、十二月一日現在で三十一件。損害額は約三千五百十万円。昨年の三十五件に比べると若干の減少がみられますが、暖房器具を使うこれからは、ますます火に対して油断できない時期です。私たちの周辺を見渡せば、タバコ・ガスコンロ・石油ストーブと常に火気を帯びたものが、身近なところに同居しているのです。

石岡市消防本部では、火災シーズンの到来に先駆け十一月二十六日から十二月二日までの火災予防運動期間に様々な行事を行いました。防火対象物の立ち入り検査、タンクローリーの安全点検、中学生の一日消防士、婦人防火教室。

家庭での防火診断、今年もお忘れなく！

「必要なのは 防火の心」

中学生の 一日消防士



十一月二十七日、市内の石岡中・府中・城南中・国府中の中学二年生二十三名が、一日消防士として石岡消防署に入署しました。この体験を通じて消防と火災予防の知識を深め、さらに防火意識を高めていこうというものです。

午前八時三十分。消防署三階にやや緊張した面持ちの生徒たちが集まり、辞令交付を受けました。車庫前での大交代の見学や訓示・講話を受けた後、生徒たちは予備検査の現場へと向かいました。市内の大型店コーキとフジコシで二グループに分かれ、防火設備の点検を行うのです。

フジコシへ向かったグループは十一人。今年十月に開店した真新しい建物の入口で、店長の池田文雄さんが出迎えます。初めて店内に入ったという生徒が七人、一行は清潔な店内を案内され、スプリンクラー・防火シャッター・発電室などの防火設備を見学しました。

城南中学校の山田聡くんは、「ボンブだとか発電機などが店内にあるとは気が付かなかった」と想像以上の防火設備にビックリ顔です。

石岡中学校の松尾みちるさんは「非常照明とか非常口がなぜあるのか、今日分かりました」と納得した表情。

池田店長が付け加えました。「この店内を見渡してください。これだけの商品を泥棒が何人来ても、短時間で持つて行くことはできません。けれども火事は、すべての物をあつという間に消し去るカゲメにしてしまいます。

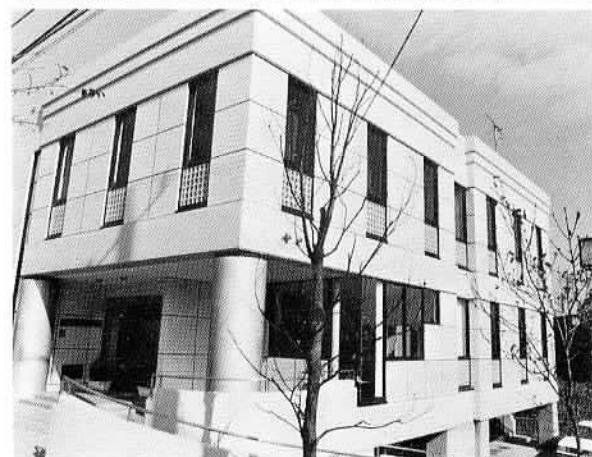
特に、私たちは店内に不特定のお客さんが来るので、タバコ



▲1月10日(日) 消防出初式
●式典 9:30～ 石岡小学校校庭
●特別演技 10:30～ 石岡駅前通り(信用金庫付近)
消防関係者のパレード、119円福祉バザーなど。
※当日朝、午前6時と午前8時に団員召集のためのサイレンが鳴ります。火事とまちがえないようご注意ください。



▲12月2日に行われた婦人防火教室。石中婦人防火クラブ員とあつま台のご婦人計20名が参加して、天ぷら油火災の消火訓練などが行われました。



▲彦山・八軒向土地区画整理組合の記念会館がオープン！
完成した記念会館は、旭台2-18(吉野会館のバス向かい)に位置し鉄筋コンクリート2階建て。内部は図書室・視聴覚室、100インチ大型テレビ・立体テレビなど最新のAV施設でいっぱい。入館料は大人300円・中高生200円。詳しくは☎6-1366へ。

市長選挙の 記 録

●山本 吉蔵(65) 15,354票
●前島 雅光(61) 12,181票
●久保田 孝(45) 250票
* * * *
投票総数……………28,091
有効投票……………27,785
無効投票等……………306

投票率 ()内は前回
男 77.67% (77.60)
女 82.17% (81.25)
計 79.98% (79.49)



▲4年ぶりの返り咲きを果たし、第11代石岡市長となった山本吉蔵氏。

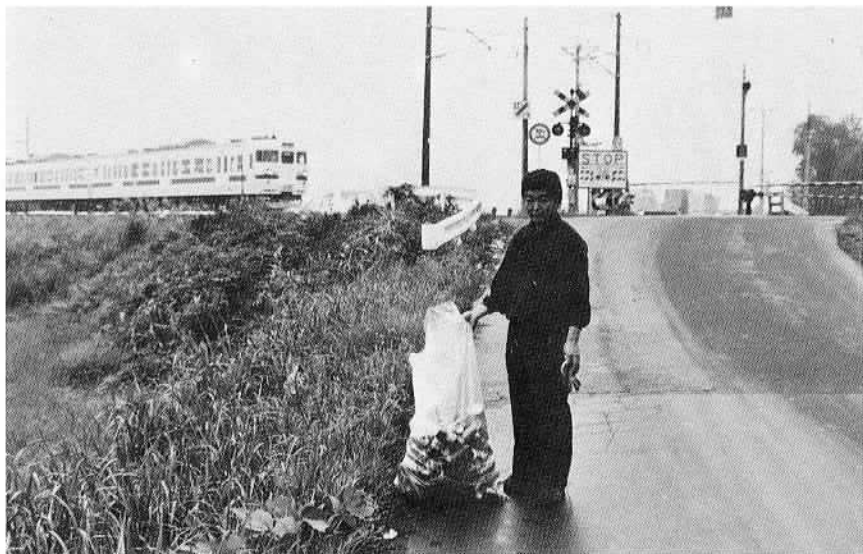
石岡市長選挙 第11代市長に 山本吉蔵氏 当選

任期満了に伴う石岡市長選挙は、十一月二十九日市内二十四カ所の投票所で投票が行われました。

当日の午後七時十五分からの即日開票の結果、元市長の山本吉蔵氏(65)が四年ぶりの返り咲き

当選を果たしました。当日の有権者数は、三万五千五百三人で、投票総数は二万八千九百一十一人。投票率は七十九・九八パーセントで、前回の投票率は七十九・四九パーセントをわずかに上回りました。

ゴミ捨てのモラルを 考えよう



▲三村・浅間神社下の市道で空き缶を拾うと、10分間でごらんのとおり袋いっぱい。道路の両側は予想以上のゴミであふれていました。

道路の両側を探ると

10分間で10kgの空き缶

春先、暖かくなって田畑の作業が忙しくなるころ農作業を始める前に、道路沿いの草むらから空き缶や弁当のバックなど無数のゴミを拾わなければならないことがあります。

十年ほど前までは、水田でもズボンまくり素足で仕事が出来ましたが、今では危険でできません。空き缶やガラスのかけらが、いたるところに潜んでいるのです。

今回は、田畑だけに限らず、市内の道路・中央帯の植え込みの中など色々なところで目に付くゴミの多い捨てについて、考えてみました。

先人の発明や開発によって作られたビニール製品や缶ジュース。毎日、大変便利な物として私たちの役に立っていますが、これらもその後の処理の方法によっては、とても迷惑な物になってしまう。

先日、市役所の広報担当者として

二人で、私の住む家の近くにある比較的ゴミが目立つところへ行ってみて、実際に現場でゴミを拾ってみました。

場所は、三村・浅間神社下の常磐線の踏み切り付近です。市道の両側約三十メートルを、とありあらず空き缶だけに限って二人で拾いました。

あいにくの小雨混じりの天気の中、大人が二人ゴミを拾っていると通りかかったおばさんが、「どうもご苦労様！」と声を掛けてくれるので、良いことをしている気分です。十分ほど拾い続けると、空き缶が出てくるわ出てくるわ。

終わってみると、大きなビニール袋いっぱい、重さにしてみると約十キログラム。道路を通過するのときに見える印象よりも、実際に集めてみると本当にたくさんの空き缶が落ちていました。

そして、この他にもビニールの買物袋・弁当のバックなど様々な物が草むらの中にありました。

しかし、ここで考えてみると、販売している場所の数に比べて、ゴミを捨てる場所やクズカゴの量が非常に限られているように感じられました。

実際、私たちが集めた空き缶



▲国道6号線と県道村上・六軒線の交差する地点もゴミでいっぱい。ここで信号待ちをするドライバーの方、絶対にゴミの投げ捨てはしないよう心掛けてください。

ゴミの里にならないよう 一人一人がノーポイ運動

は近くにゴミを集積する場所もないので、玉里村にある広域のゴミ処理場まで持っていくたのでした。捨てられる場所・置き

場所をもっと増やすこと、定期的にそれを集めるなど、行政側としても一考あるべきなのではないでしょうか。

ここで一例。市民の方からのレポートと意見が市報編集部に届いているので紹介します。

この方は、東岡岡一丁目に住む貝塚徳衛さん(73)です。教員を退職後、住まいに近い国道355号線(小川街道)から国道6号線の交わる十字路の付近を定期的に積極的に清掃しています。

この辺りは、ご存じのように朝夕の通勤・通学の時間に非常に渋滞する地域で、車からのポイ捨てが多いところ。空き缶や紙クズを始め、ひどいときには車の灰皿から大量のタバコの吸い殻が、道路に投げ捨てられているようです。

この調査は、貝塚さんが今年の五月三十一日から六月十三日までの約二週間、日立電鉄の北側約四十メートルの道路沿いにあったゴミを調べたものです。

●ポイ捨てゴミの調査 (小川街道と国道6号付近)

貝塚徳衛さん調査

ゴミの種類	%～%	%早朝	合計	%
タバコの包装紙	60	11	71	8
タバコの吸い殻	0	300	300	36
▲空き缶・空きビン	90	1	91	10
▲空き缶の口せん	0	60	60	7
▲発泡スチロールの コップなど	100	20	120	14
▲発泡スチロールの ケース	50	0	50	6
お菓子などの包装紙	10	30	40	5
ちり紙など	0	30	30	4
▲ビニールを含む紙類	33	50	83	10
合 計	343	502	845	100

▲は、燃えないゴミ・燃せないゴミ

そして、貝塚さんは「道路にあるゴミが全部車からの物ではないと思いますが、調査した表から分かるように、吸い殻類が四十四パーセントも占めていること、大人の捨てた物が多いこと。また空きビンや

また、大人は子供たちに自信を持って意見できる立場にたって行動すべきではないでしょうか。

石岡市が歴史の里ならぬ「ゴミの里・不道德の里」にならぬよう実行することが必要です。



▲町おこしを考えるシンポジウム(11月21日)
石岡の活性化を民間レベルで考えようと、石岡出身のユニークな建築家・飯塚泰助さん(39)が、6人のパネリストを集め討論会を開きました。会場の「写真の飯村」ビル3階には、約50名の市民が集まり、石岡の個性化を目指す「ストーンビル21」の構想に聞き入っていました。

ヤング・インタビュー ひまわり談話室 ④6

●斎藤 清美(20) 府中4-3 石岡精工(株)に勤めて二年目の清美さん。現在、購買課で時計部品の在庫管理の事務を担当しています。

毎日の通勤は、愛車スバル・ヴィツキーに乗ってスイスイ。

「仕事については？」

「コンピューターのキーボードの前に座っている時間が長いのでちよつと疲れるときがあります。最近になってやつと慣れたという感じですね。うーん、あとは仕事のことといつても、別に話すこともないですね……」

——趣味・特技については？

「学生のようにバスケットボールをやっていたんですが、今は特別にやっています。スキーとかテニスをたまにする程度で、これからはもっと色々やってみたいです。え、お酒ですか？ 私は会社のお付き合い程度です。家の人は飲兵衛ですが……」

ドライブ旅行も好きです。

夏休みには、富士山麓の山中



市役所の通りから国道六号へ抜ける交差点の渋滞を、早く正常な状態にして欲しいです。毎朝、渋滞がひどくて困っています。それから、市民会館が有名人のたくさん訪れるような活気のある場になることを望みます。若い人が楽しめる場所、例えば映画館などがあればいいなと思います。活気のある街づくり、期待したいですね」

年末年始のごみ・し尿収集日程

年末、年始はふだんより多量のごみが出されます。ごみの収集日程表を参考に期日にごみを出してください。収集業務のない期間中は、ごみを各家庭で保管することになります。

大掃除は最終収集日に間に合うようお早目に。

●ごみ・し尿収集日程

種別	収集日	最終日	開始日
燃えるごみ	月・木	12月28日	1月4日
	火・金	12月29日	1月5日
燃えないごみ	水	12月30日	1月6日
	木	12月24日	1月7日
	土	12月26日	1月9日
し尿収集		12月30日	1月6日



▲年末の街を美しく！

大砂環境美化クラブ（岡野孝子会長）では、大砂集落センター周辺を約35名のメンバーで清掃活動を行いました。

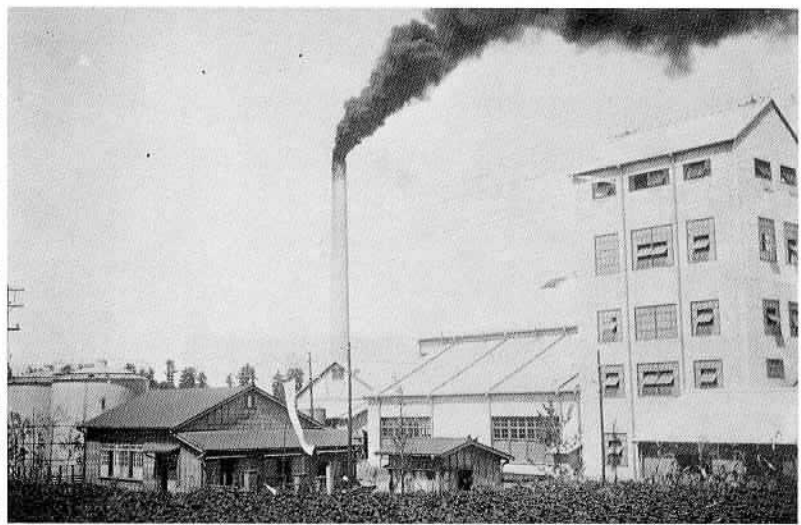
●栗とイモのブルース
石岡の代表的な特産物の一つである栗。その栗が「茨城栗」として全国的に名を馳せるまでには、色色な苦心がありました。大正八年、東大農学部を出た千代田村志筑の兵藤直彦さんが、十ヘクタールと



▲石岡名産「茨城栗」の出荷作業風景。選別も箱・網づめもすべて手作業です。

写真で綴る いしおか回想録

20



▲「茨城一号」は石岡で誕生した画期的なサツマイモ。昭和13年5月には、さっそくそのイモを原料としたアルコール製造がアルコール工場で行われました。

市長日記

十二月二日(水)

窓外に目をやると、師走のどこまでも澄んだ空がさわやかな広がりをみせていた。冬空に浮遊する一辺の雲が、地上のあわただしさを嘲笑するかのごとく長閑に流れてゆく。

自然を愛でるといふゆとりある精神を失いつつある昨今、荒廃した人間の心があまりにも物質文明の方向に傾き過ぎてしまったのではないかと案ずるのである。

物が豊かになった代償に、我々日本人は心の豊かさをどこかに置き忘れていた。私の脳裏にそんな謙虚な反省が横切るとき、空の青さの中に一つの漢詩が浮び上がってきた。

天は穹廬に似て、視野を覆う
天は蒼々、野は茫々
風吹き草低れて、牛羊を見る

六世紀の中国の詩人・鮑参軍がうたったこの詩から伝わってくる壮大なロマンスに満ちた叙情性。穹廬とはアジア大陸の遊牧民が住む円形のテントである。

「天空は、我々が天幕のごとく四方の平原を覆っている。空は底知れず蒼々、野はどこまでも広がっている。」

風が吹き草が伏し、遠く牛や羊が見えてくる。

そのような雄大な光景をうたいあげる中に、自分たちのふるさとへ捧げる限りなき愛を感じることが出来る。

ふるさとを誇りに思う心は、古来から万人の胸に共通のものであったろう。そして、その人の郷土愛が、ぬくもりあるふるさとを築いてきたのである。

愛郷無限。
市長就任しての四年間、思えば私はそんな気持ちを持ち続け今日までやってきた。
今日と同様に晴れた青空のもと約二百人の方々に迎えられた市役所初登庁の日。石岡が市になって三十年目となった記念すべき市制三十周年式典。
歴史の里いしおかの伝統芸能を披露した科学万博の石岡市の日。五百人の市民の方々とディズニールランドへ行った市民列車の旅。消防関係者や市職員が一丸となって奮闘した昭和六十一年八月の台風十号復旧活動。
高齢社会に対応した福祉の拠点として築いた福祉会館のオープン。五万都市の新たな街づくりとして開始した駅東開発事業。無我夢中で過ぎたこの四年間の出来事が懐かしく思い起される。



市民の皆様と市会議員の皆様。私の手足となって働いてくれた約四百三十名の市職員。それぞれの暖かい協力により、私に与えられた四年間の職務をまっとうすることができた。
この紙面を借りて、それらの方々に心から感謝の言葉を申し上げたい。
そして、ふるさと石岡がぬくもりで満たされ、心豊かな都市に発展することを願ひ、ここに市長日記の筆を納めさせていただきます。

石岡ギネスブック (29)

新聞切り抜き40年 小井戸の長谷川瑛さん



▲毎日毎日、新聞切り抜きを続ける長谷川瑛さん。部屋の中には分類された切り抜き帳が、山のようになっています。

母屋の前の広い前庭を横切つて、柿の木のある大きな隠居に向かうと、そこに長谷川瑛さんがいました。床の間を背にして、いくつもの新聞を切り抜いています。「散らかってますけど、どう

ぞうぞう」と気さくな口調の長谷川さん。しゃべりながらも、ハサミを器用に操っています。長谷川さんが新聞の切り抜きを始めたのが、昭和二十二年の三月十五日のことでした。「私は、新聞が大好きなんです。で、昭和十四年の一月に入隊し内蒙の張家口へ。終戦で帰るときには多くの戦友が靖国神社へまつられました。私はその戦友たちのためにも、一日一日を大切に記録しよう」と新聞切り抜きを始めたのです。古い切り抜きは、もう大分黄ばんでいますが、向こうの蔵の中に保存してあります。

「切り抜いた新聞は、いくつもの分野に分けられ大学ノートとワラ半紙で作ったスクラップ台紙にはられていました。石岡のできごと・皇室関係・天気予報・中国残留日本人孤児・いじめ問題・豚肉の相場・盆栽・人生相談など、積み上げられた切り抜き帳には様々なタイ

トルがついています。『毎日欠かさず、六種類の新聞を読んでみると、色々なことを覚えるし何よりも頭の健康法になります。』新聞は、小川にある横田新聞店へ行って手伝いをし、各新聞の残紙をもらっています。雨が降っても風が吹いても、必ず四キロ先の新聞店に通います。もちろんこれからもずっと続けていきますよ」と新聞に囲まれて語る長谷川さん。昼間はシルバー人材センターで草取りの仕事で手が空かないため、もっぱら切り抜きは夜の仕事です。「四十年に及ぶ新聞の切り抜きは郷土の資料として、子孫へと伝えたいですね」長谷川さんの地道な努力はまだまた続きそうです。

長い間続いた「石岡ギネスブック」も今回が最終回。次回からは、様々な分野で活躍する市民を紹介する「この人と30分」が始まります。乞うご期待。



文化・スポーツ

★図書館 ☎4-1507 ★府中地区公民館 ☎4-1530 ★東地区公民館 ☎6-6503 ★城南地区公民館 ☎6-3341

野間読書推進賞を受賞

石岡市読書会連合会

第十七回野間読書推進賞に、石岡市読書会連合会（入沢潤子会長）が選ばれ、十一月四日東京都新宿区の日本出版クラブで表彰式が行われました。

野間読書推進賞は、社団法人・読書推進運動協議会（服部敏幸会長）が昭和四十四年に設立さ



▲石岡市読書会連合会会員の協力で開かれている親子読書会。

れた際、講談社元社長の野間省三さんらの寄附を基金に創設されました。



▲訪れた人たちは、すばらしい作品に見入っていました。

芸術の秋 市美術展 開催

美術工芸で市長賞に上原府弘さん

芸術の秋となる十一月十三日から十五日までの三日間、第二十八回市美術展が市民会館

読書振興大会で、個々の「まどか読書会」「ふづき読書会」が県知事賞を受賞しています。入沢会長は「こんなに大きな賞をいただき光栄です。会員みんなで喜びを分かちあいます。これからも地域のみなさんと一緒に読書の輪を広げてい

- ロビーで開かれました。今回出展された作品は、日本画十六点・洋画三十点・彫塑一点・美術工芸二点・美術工芸二点・書道二十九点・写真四十点・デザイン三十点の計百四十六点です。
- 各賞入賞者は次の通りです。
- （日本画）
 〈市長賞〉「残月」萩谷智恵子
 〈議長賞〉「花明り」本木清明
 〈洋画〉
 〈市長賞〉「冬の摩周」吉田政雄
 〈議長賞〉「あじ」鳥羽き
- （写真）
 〈市長賞〉「冬を待つ裸樹」福田恒男
 〈議長賞〉「幻華」堀口真男
 〈教育賞〉「子猿」小神野勲
 〈文化協会賞〉「朝露」石井正夫
 〈商工会議所賞〉「朝露」荒井謙次
 〈観光協会賞〉「秋景」吉田和
 〈公民館賞〉「まつり」諸岡ふさ

公民館

自分の手で漬けてみよう

漬物講座

「毎日の食卓に欠かすことのできない漬物を、すぐに食べられる「即席漬け」から、長く保存のきく漬物まで、四季折々の野菜を使って作ってみよう」と、府中地区公民館で漬物講座が開かれました。

この講座には三十名の御婦人方が参加し、「しゅんの野菜の風味と持ち味を漬け上げに生かす」「無駄のない塩の使い方

を覚える」ことを目標に学習しました。講師には額賀孝一さんを迎え



▲漬物にはそばが一番と手打ちそば作りに励む受講生。

計三回の講座が開かれ、大根漬け、白菜おこね、五目漬け、白菜の一夜漬けなど十数種類の漬物にわたって学習内容。額賀さんは、八郷町で農業に従事するから、漬物研究家としても有名で、楠木・埼玉などにも講師として出向指導にあたっています。

漬物の味は塩加減が大切

岡本美代子

最近の世間は、食べたい物があれば何でも店頭に並んでいま

すが、特に漬物に関しては手作りの物ほどおいしく、生活に役立つ物はな

いと思われ、講座に参加しました。きれいな調理室で、しかも立派な器具類の揃

った中で、先生の指導に受講生

一同熱心に耳を傾け、時には質問も飛びか

きました。三回の講座で、十種類以上の漬物作りに挑戦し、昼食には珍らしい「じやが芋もち」「山菜おこね」「手打ちそば」を食べながら自分たちでつけた漬物に舌鼓。

第20回石岡市子ども会バドミントン大会

11月3日 石岡一高体育館

男子の部	女子の部
優勝 祖文江 3位 市川 敬組(ひまわり第3子ども会・南小)	優勝 小川 勝子組(四ツ葉子ども会・東小)
準優勝 磯山 賢志 2位 市川 敬組(ひまわり第3子ども会・南小)	準優勝 小川 勝子組(みどり子ども会・東小)
3位 磯山 賢志 3位 市川 敬組(ひまわり第3子ども会・南小)	3位 小川 勝子組(さつき子ども会・東小)
3位 磯山 賢志 3位 市川 敬組(ひまわり第3子ども会・南小)	3位 小川 勝子組(さつき子ども会・東小)

東地区公民館 児童室

ご利用ください

東地区公民館には、児童室が設けられ連日子供たちでにぎわっています。

先日、児童室へ図書館キャラバンが訪れ、子供たちに楽しい催物をプレゼント。

図書館キャラバンで参加したのは、ボランティアグループ「ドゥモロ」の皆さん。

当日は、アリのババと四十人の盗賊の紙芝居や和紙の折り染め、ミニ手帳作りなど盛りだくさん。この児童室を担当しているのが菊地さんです。

菊地さんは、ボランティアで



▲象の背中に乗せてもらい大喜びの「ヒロシくん」たち。

る象とヒロシ君の心温まる人形劇に、館内の子供たちからすすり泣きの声。象使いヒロシくんの奮闘ぶりに一生懸命応援していました。

図書館

おはなしキャラバンが公演

人形劇ぞうつかいヒロシ

市内の幼稚園と保育園児、石岡小学校一・二年生を迎え十一月十一日、東京電力石岡営業所、市教育委員会、市立図書館共催で人形劇が市民会館大ホールで開かれました。

当日は千七百人の子供たちが招かれ、午前の部と午後の部の二回公演が行われ会場内はちびっ子の熱気でムンムン。

来演したのは「おはなしキャラバン」の女性メンバー七人で、上演したのは人形劇「ぞうつかいヒロシ」。

おはなしキャラバンは、全国各地を巡演し遠くは海外にまで歩を伸ばし公演しています。

この日を楽しみに待っていた子供たちは、劇に夢中。

背中に重い荷物を背負わされる象とヒロシ君

の心温まる人形劇に、館内の子供たちからすすり泣きの声。

象使いヒロシくんの奮闘ぶりに一生懸命応援していました。

公演後は、ステージ上でゲームをしたり、劇中のヒロシくん

と同名の「ヒロシくん」が大集合し、象に乗せてもらったりととても楽しい一日を過ごしました。



▲けやきの家&朋友園の楽しく愉快的な運動会(11月7日)

市内の身心障害児とその親たち約50名が集まり、朋友園の園庭で楽しい運動会が行われました。ボランティアと福祉関係者のプログラム進行中、玉ころがし・花力ゴリレー・パン食い競走など、秋空の下に子供たちの歓声がこだましました。



▲府中三丁目に私設・府中
文庫照光園がオープン
「本の好きな人ならどなたでも来て
ください」と語る開設者の君嶋照幸さ
ん(47)。無料・無休・無人をモットー
にサイン一つで貸し出しする文庫内
には、約3千冊の本がぎっしり。本を見
たい方は、☎3156552君嶋さん宅

まの
できごと

●寒さ厳しき6P●

▼石岡中学校で創立40周年の記念式典(11月15日)

昭和22年5月に開校して以来今年で40年を迎えた石岡中学校(田村匡校長)で記念式典が盛大に開かれました。これまでに石中を巣立った卒業生は約11,000人を数えています。当日は新しい校旗の披露と校訓碑の除幕式が行われた後、合唱祭など生徒による多彩な催し物が繰り広げられました。



▶豊年だった一年を感謝しよう(感謝祭)

3年前に集落センターが完成したのを機に、秋の集
穫期も終り豊年だった一年を感謝しようといふ集落農
落センターで感謝祭が開かれました。これは感謝祭実
行委員会(岩田明尊委員長)が中心となって企画運営
され、当日はカラオケ大会や婦人会の皆さんの手作り
そばや焼きそば、カレーなどが設けられ会場内は押す
な押すの大盛況。



▲市役所へ小さなかわいい訪問者(11月21日)

「毎日、お仕事ご苦労さん!」と泉ヶ丘保育園の子供たちの元気な声。花束を受け取った常盤桂吉助役もニコニコ顔です。創立以来35年間、毎年欠かさず市内の公共施設訪問を行ってきた泉ヶ丘保育園。園児たちの励ましの声に職場はたちまちにこやかムード。



▶環境美化功労で高橋淳さんが県知事表彰

地域の環境美化活動に尽くしたとして三村・吹上の高橋淳さんが11月13日、県知事より表彰されました。高橋さんは昭和57年4月から区長を務めるかたわら白寿会第2環境美化クラブ会長として率先して環境美化に力を注いできたことが認められたものです。

●府中中学校 仁平好則先生(29)
どっしりとした体格の仁平先生は、一見プロレスラーの長州力
を思わせる筋肉マン。
水戸の元吉田から、片道約50
分の道のりを愛車で通勤してい
る真面目一本の独身教師。
東京電機大学
の応用理化学を
専攻して卒業と
同時に玉里東小
に赴任し、本年
四月府中中に着
任して九ヶ月。
部活では、男
子バスケット部
を指導し、市内中学校新人戦で
男女揃って優勝に導いた名監督。
藤代教頭先生は「明るくて気
持の優しい先生です。太っ
ていても体をすぐ動かす好青年
です」と称賛の言葉。
一年二組の教室へ入ると、大



ぼくらの名物先生

36

「困ったことがあると、すぐ相談にのってくれる思いやりのある先生です」と奥田聡子さん。山本和愛さんは「大の巨人ファンで、巨人が負けたりすると機嫌が悪いけど、勝つものなら一日中笑顔が耐えないんです」

塚香代子さんが「時々冗談を言ったりするので授業がとても楽しい」と笑顔で話してくれました。「騒いだりすると怖いけど、普段は優しい。体も大きいけど、心も大きい先生なんだよ」とは林保憲くん。

文芸いしおか

▼俳句の部
泉 町 醍醐 味風
おき去りの案山子しきりに雲払う
総社二 楚阪 和彦
煙草の輪いくつも吐いて夜の長き
大谷津 大関 ひさ
木の実ふる夜は秒針高く鳴る
大谷津 海老沢明子
片言の兒に追ひつかず天高し
泉 町 稲葉 禾春
舌解海の重さを恋う瞳もつ

茶屋場 小島 こう
余生をなすこと多し菊の花
北府中一 野村敏津子
水際より霧の晴れゆく山紅葉
▼俳句の部 題「山茶花」
国府二 篠原 東陽
非番婦警に山茶花日和
美容院出る艶やかさ
国府六 常山 真砂
今を盛りと咲く山茶花に
留守をたのんで其様ぞ
三 村 上田 御城

蝶も来ぬのに綺麗に咲いて
可愛い山茶花誰れを待つ
若宮一 石毛 芦影
庭の山茶花運まきながら
紅を添えて冬の垣
総社二 鈴木 虚心
出世せずとも達者で暮せ
母の言葉が胸を突く
国府六 岩崎 山水
五指を突き出し吐く息白く
掛ける呼び声魚市場
▼短歌の部 東石岡三 大和田信子
おとしおみの造りし揺籠ひろげ見る
けし粒程の卵が一つ
泉 町 藤岡みづ子
尺に満たぬ股引の足ころころと
鈴振る幼も祭りを走る
府中三 長谷川や江
戸を繰れば乳白色の蕨湧きて
絵巻ながら庭の花
国府四 太田 尚武
奥久慈の山のなだりの拓かれて
段々畑に蕎麦花ざかり
国府五 山口 とし
咲きさかる菊のかたへひと本の
花ほととぎすひっそりと咲く

くらしのガイド

11月の市内交通事故

発生件数 19(281)
死者 0(1)
傷者 22(363)
(内は1月からの累計)

★市役所 ☎3-1111 ★市民会館 ☎2-5187 ★テレホンサービス ☎3-3333

休日・夜間緊急診療

●休日 受付 午前9時～午後3時30分		●夜間受付 午後7時～10時30分まで	
月	日	産婦人科	外科
12月	31日(木)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	同愛病院 ☎(2)-2261
	1日(金)	松葉病院 ☎(3)-2157	府中病院 ☎(2)-2146
	2日(土)	松葉病院 ☎(6)-3812	田中病院 ☎(3)-2288
1	3日(日)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	根崎医院 ☎(3)-6611
	10日(日)	松葉病院 ☎(3)-2157	石岡第一病院 ☎(2)-5151
	15日(金)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	滝田整形外科病院 ☎(3)-2071
	17日(日)	松葉病院 ☎(6)-3812	山王台病院 ☎(6)-3130
	24日(日)	飯田医院 ☎(2)-2268	斎藤病院 ☎(6)-2131
	31日(日)	松葉病院 ☎(3)-2157	青木医院 ☎(3)-0221

内科・小児科
歯科(11:30まで)
メディカルセンター
杉並2-1 ☎4-1386
但し
12/31 同愛病院(内科)
12/31 高野歯科医院

夜間
(内科・小児科)
12月31日・1月1日
・2日・3日・9日
・10日・14日・15日
・16日・17日・23日
・24日・30日・31日

ふるさと 散歩道 60

懐かしき駄菓子

屋文化の残る店

メンコ・ペーゴマ・オハジキなどを買いに駄菓子屋へ行った記憶は、三世代以上の方ならどなたでも持っているはずだ。店頭には、ブリキのおもちゃや日光写真・うつけ絵・あて袋・くじ・ビー玉・リリアン・鉄砲玉・ラムネなど色とりどりの品物が並べられている。お正月が近づいてくると、いろはカルタや奴だこ・羽子板なども姿をみせます。店の周辺では、青つばなを垂らした餓鬼大将の一群がペーゴマをしたり、オカッパ頭の女の子たちがゴムとびをしたり、大



▲大橋屋の店頭には、奴ダコや紙風船・羽子板・ペーゴマ・ビー玉・お面などの懐かしい姿が並べられていました。

きな女の子が幼い弟妹のお守りをしていたり、そんな光景が毎日のように見られました。テレビやファミコンもなく、住宅事情も悪かった当時、子供たちの遊び場はいつも屋外でした。学校から帰り、親から小遣いを貰うと、一目散に駄菓子屋へ。大正時代から昭和三十年代まで、駄菓子屋は子供たちの社交場だったのです。かつては石岡市内に何十軒とあったそんなお店も、時代の変遷とともに消えて行き、今では

「ここ一、二年子供が減っている傾向にあります。テレビの影響で、ドラエもんなどの人気キャラクターのおもちゃやチョコシールが売れていますが、寒くなってくるとメンコやペーゴマも結構出ますね。このところ大人がブリキのおもちゃを買いに来たり、東京の吉祥寺や筑波大からもお客さんがみえていますよ」とお店番をする奥さんの陽気な声。レトロブームの影響が、ここにも及んでいます。懐かししの店先には、少年時代の夢が一杯に渦巻いています。

★金銭の部	
東日電線(株)A団	一七、九八〇円
石岡納札陸	二、六四一円
磯部 延久	一〇、〇〇〇円

善意銀行への暖かいお心、本当にありがとうございます。

善意銀行

つづけば市誕生。めでたい気分と同時に、すぐそばに「浅い都市」が出現し、こりや石岡もうかうかできないぞという気分です。早速つづけば市の広報からの電話。受話器の向こうは優しい熱気です。合併がどうの副市長がどうの、残業がどうの忘年会がどうの、料亭がどうのサシミがどうの。その未来は洋々です。つづけば市は躍つてさえ凄いのに立つたら江戸を追い抜くんだべおそまつ!

編集後記

健康相談
●妊婦教室 メディカルセンター
1月11日(月) 午後1時30分～4時
●リハビリテーション メディカルセンター
1月8日(金) 午後2時
●出張健康相談 各会場とも午前10時～午後3時
1月5日(火) 城南地区公民館
1月8日(金) 石岡商工会議所
1月21日(木) 東地区公民館
1月28日(木) 府中地区公民館
●市民健康相談 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月・水・金曜日 午前10時～午後3時
●健康教室 城南地区公民館
1月28日(木) 午後1時30分～3時

金丸通りに「大橋屋」という老舗が残るのみです。大橋屋(国府3-1)の創業は、明治十年。塩・タバコ・日用雑貨と子供のおもちゃなどを扱っているお店です。八年前に経営者のおばあちゃんが八十歳で亡くなり、今では親戚の奥さんがお店番をしています。

★物品の部	
鈴木 孝司	タオル二十本 地価二五五枚
吉原 孝一	電動椅子
石岡幼稚園	衣類十五点

★物品の部	
鈴木 孝司	タオル二十本 地価二五五枚
吉原 孝一	電動椅子
石岡幼稚園	衣類十五点

おくやみ 十月届出
平井 俊子 45 府中一
安達 清治 38 府中四

納期を忘れないでネ
12月 固定資産税(3期) 都市計画税(3期) 国民年金保険料 下水道受益者負担金 第三期 12/15～12/25
1月 市県民税(4期) 国民健康保険税(5期) 国民年金保険料

宮崎 正直	府中五
桜井 秀子	府中三
本川 雄雄	府中三
市川 一郎	府中六
山本 一郎	三村
川又 一郎	三村
川島 一郎	三村
加藤 一郎	三村
大橋 一郎	三村
石川 一郎	三村
谷川 一郎	三村
松本 一郎	三村
関本 一郎	三村
栗原 一郎	三村
中山 一郎	三村
平山 一郎	三村
栗原 一郎	三村
矢口 一郎	三村
小倉 一郎	三村
江崎 一郎	三村
長尾 一郎	三村
藤原 一郎	三村
藤次 一郎	三村

こんにちは 赤ちゃん

「名前をつける時、大きく羽ばたいてもらいたいという願いから命名したので、できることなら宇宙開発の分野で活躍して欲しいですね」と、お母さんの言葉に、赤ちゃんは微笑みながらうなづきました。

大和町 前島翔太くん(歳十カ月)

「柴野屋の孫でうす」と、お祭りの時にはハッピに背番号をつけていた翔太くん。それもそのはず、今いたかなと思いきや忍者ののごとき近所の家へお邪魔虫という早技で、三度程行方不明になってしまった。

むことなく毎日せせと石岡駅へ日参し、特急電車とご対面。

石岡地方斎場組合 四、二〇二円
府中地区公民館 三、〇〇〇円
パンの花同好会 五、〇〇〇円
革細工同好会 八、〇〇〇円
洋裁同好会 八、〇〇〇円
水戸ヤクルト 四八、一八七円
販売(株)石岡支店 三九、五七〇円
石岡市役所 環境保全課 三九、五七〇円
消費生活センター 二、五二六円
の会(株)チャリライ 三〇、〇〇〇円
石岡商工会議所 三〇、〇〇〇円
柴山 孝吉 一〇、〇〇〇円

各種相談
●国民年金・厚生年金相談 石岡商工会議所
1月8日(金) 午前10時～午後2時30分
●義肢・車いす装具等巡回修理 土浦市社会福祉センター
1月20日(水) 午前9時30分～12時
●高齢者無料職業紹介所 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月曜・土曜日
●出張相談 1月6日(木) 府中地区公民館
1月20日(水) 東地区公民館
●精神衛生相談 石岡保健所 ☎4-11335
1月8日・22日 専門の精神科医師 午前10時～11時
●精神障害者デイケア事業 石岡保健所 ☎4-11335
1月6日・13日・20日・27日 午前9時30分
対象 在宅精神障害者で年齢50歳未満の方で通院治療を受けている方。詳しくは石岡保健所へ連絡ください。
●消費生活相談 毎週月曜・土曜日 市役所市民活動係

困り事
●市民相談 毎週月曜・土曜 市役所市民相談室
●困りごと相談 福祉会館 ☎2-2940
1月22日(金) 午前10時～午後3時
●行政・登記相談
1月14日(木) 午前10時～午後3時 市役所会議室
●法律相談 市民相談室(予約は電話で・内線263)
1月12日(火) 長谷川恒弘弁護士 午後1時
1月26日(火) 野武典一弁護士 午後4時
●交通事故相談 福祉会館 ☎2-2940
1月22日(金) 午前10時～午後3時